

学校教育目標	①自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力を伸ばします【知】 ②自他の生命を尊重し、心身の健康を維持・向上していく力を伸ばします【徳・体】 ③共に認め合い、参画し、自他および社会を高めていく力を伸ばします【公・開】 [具体的な取組目標] ①学習の基礎・基本を身に付け、それらを基に活用・探究していく学習力を養うと共に、自立的に学び続ける意思を育みます。 ②生徒自らが心身の健康や体力の維持・増進を心がけ、それに向けての実践意欲や振り返る姿勢を育みます。 ③仲間や地域の人たちと協働して取り組む活動を通して、人とともに生きる大切さを理解し、その実践力を育みます。				
	創立 37 周年 児童生徒数: 537 人	学校長 赤堀 貴	副校長 塩澤恵子	2 学期制	一般学級: 14 個別支援学級: 3
学校概要	主な関係校: 南戸塚小学校 下郷小学校 (小雀小学校) (千秀小学校)				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	南戸塚中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力><情報活用能力> <問題発見・解決能力>  <自分づくりに関する力> <健康・安全・食に関する力>	南戸塚中学校 南戸塚小学校 下郷小学校	他の人や社会に役立つ人を目指して、主体的に行動し、たくましく生きる子ども ・合同研修会を活用し、9年間で育てる子ども像の実現のための資質と能力についての共通理解を図る。 ・公開授業を通じて、保護者や地域の方々の意見を交えながら、資質・能力の育成を図る。 ・合同授業研究会を通じて、育成の方策が効果的となっているかを検証する。

中期取組目標	「チーム南戸塚」として組織的な学校運営を行い、「誰もが・安心して・豊かに」生活できる学校づくりを目指します。 ・生徒、保護者、地域が参画する学校評価を実施し、根拠に基づいた改善を重ねます。 ・生命を大切にすることを第一に考えた、安心、安全な学校づくりを目指します。 ・生徒が仲間と協働し学びを深める授業を実践し、主体的に取り組む態度を育成します。 ・地域社会との関わりを大切にすることを育て、社会に貢献できる力を育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 授業改善 担当 学習指導部・教科会	・学習指導要領の趣旨に基づく実践方法や、効果のあった学習形態などについてのまとめを教科ごとに作成し、研修会で発表し、相互に研究を深める。 ・教科横断的に取り組む内容を再構成し、「総合的な学習の時間」の充実を図る。従来のキャリア教育のほかに、柱となる取り組みをつくる。
<b>徳</b> 人権教育 担当 人権国際理解推進委員会	・横浜子ども会議の取り組みにより、生徒の自主的な活動を重視し、小中ブロックの交流により継続的な人権教育を推進する。 ・道徳の授業、学校行事、地域行事、小中合同の行事を人権教育に効果的に繋げる。 ・小中合同研修会を実施し、毎年テーマに沿って人権教育に対する理解を深める。
<b>体</b> 健康・安全管理 担当 保健指導部	・生徒による安全点検を定期的に行って結果を公表して危険箇所を把握し、職員とともに安全に対する意識を高める。 ・災害時や事故発生時にすべての職員が自主的に動き対処できるよう研修をすすめる。 ・学習環境を整備し、安全で快適な学校生活を送れるようにする。
<b>公</b> 主体的生徒活動と地域・社会貢献 担当 特活指導部	・話し合い活動を充実させるために、各委員会の活動や行事などの取組を全校に伝えとともに、課題を解決する話し合いの場を設定する。 ・地域行事やボランティア活動の情報提供を活発にし、参加を促し地域の方々と協働し、社会に貢献しようとする態度を育む。 ・仲間や地域の人たちと協働して取り組む活動を通して、人とともに生きる大切さを理解し、その実践力を育む。
<b>いじめへの対応</b> 担当 専任・生徒指導部	・生徒アンケートを定期的実施し(年4回)、教育相談の場において、傾聴・受容的姿勢で臨む。 ・生徒指導と事案対応の区別を明確にし、基本的な生徒とのかかわり方を見直す。 ・保護者との連絡をしっかりと行い、保護者の考えや意見等の発信も丁寧に聞き取り、全職員で共有する。
<b>人材育成・組織運営(働き方)</b> 担当 企画運営会	・各指導部長のリーダーシップの下、校内研修を実施し、OJTによる有効な人材育成を進める。 ・部門会議開催前に議題を明確にし会議に臨む。 ・会議内容の精選を行い、時間短縮・回数減を実施し、生徒と向き合う時間を多くする。 ・研究授業、校内研修、メンター研修等を意図的につなげ教師力の向上を目指す。 ・計画的、効率的な業務遂行を習慣づけ、最終退職時間の目標を設定し、働き方改革を進める。
<b>受容型生徒指導</b> 担当 生徒指導部	・定期的な生活アンケート実施、教育相談の充実により生徒理解を深め、家庭とも連携をはかる。アンケートの集約・事後指導をしっかりと実施していく。 ・授業、休み時間、昼食時、廊下、保健室等で積極的に生徒たちの中に入っていく。 ・教育相談を積極的にいき、傾聴を大切にし、問題行動等の事前防止に努める。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援教育委員会	・生徒指導部と連携し、特別支援を要する生徒を把握する。 ・特別支援教室の有効活用を進める。 ・不登校生徒・保護者との相談活動を充実させ、必要に応じて他機関と連携する。
担当	
担当	